

福祉サービス第三者評価 受審終了証

法人名 社会福祉法人 揺籃福社会
施設名 幼保連携型認定こども園 めだかのこころ

貴施設は社会福祉法人徳島県社会福祉協議会「評価機関評価実施手法に関する規程」及び「評価機関事業内容等に関する規程」に基づく評価事業が終了したことを証します。
つきましては、貴施設の独自の取り組みについて、次のとおり総評します。

<評価結果総評>

園では、教育・保育の質の向上に向けて、組織的な取り組みを実施している。定期的に、社会福祉事業全体の動向や地域の情報等を踏まえた分析を行い、人事・財務・労務等に関する課題や問題点等を明確化し、評価・分析を行っている。組織のなかに、8つの職務分野（キャリアパス担当、リクルーター担当、環境担当、安全担当、保健・衛生・美化担当、食育担当、鼓笛隊担当、健康経営担当）を設置し、担当職員を定めることで、各分野における課題の解決・改善に取り組んでいる。各分野における取り組み内容や協議・検討した事項は、事業計画部門で集約を行い、次年度の計画策定に活かすなど、PDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に向けた体制を整備している。また、第三者評価の受審に向けて、新たな体制を組織上に位置づけている。評価基準にもとづいて、全職員が自己評価を行うとともに、収集した評価結果にもとづいて、目標管理制度の導入や保育実践の振り返り等を実施し、さらなる質の向上・改善活動を実施している。よりよい教育・保育の提供に向けて、サービスの質の向上に意欲的に取り組んでいることは、評価できる。

園では、経営の改善や業務の実効性を高める取り組みにより、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。理念・基本方針等にもとづく“期待する職員像”を明確化するとともに、採用・配置・異動・昇進・昇格等の人事基準も明確化し、職員に周知を図っている。職員一人ひとりの育成に向けて、目標管理制度やキャリアパスシステムの導入、園内外の教育・研修への参加を推奨するなどの取り組みにより、職員が自ら将来の姿を描くことができるような体制整備を実施している。登降園の確認や会計処理等の業務にICTを活用したり、ノーコンタクトタイムを設けたりして、業務の効率化も進めている。また、生活・健康面における福利厚生を充実することで、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮している。質の高いサービスの提供に向けて、職場環境の整備に取り組んでいることは、評価できる。

園では、理念・基本方針にもとづいた、全体的な計画を作成している。計画には、保育の考え方の中心となる教育・保育理念を示すとともに、6つの教育・保育方針を掲げている。子どもの年齢ごとに教育・保育目標を定めつつ、園における特色のある教育と保育（多元的知的能力を育む教育、保幼小中一環継続教育、異年齢保育の導入、絵本・音楽・身体を通した表現活動）、主な行事、教育・保育時間等を記載するなど、計画的に保育に取り組むことができるようにしている。主な教育・保育の内容以外にも、健康・安全に向けた取り組みや子育て支援、職員の資質向上、小学校との連携、カリキュラムマネジメントと評価、保育計画に関しても記載し、実効性の高い内容となっている。園内の環境は、全体的な計画にそって、子どもが主体的に過ごすことのできる物的・時間的・空間的環境を整備している。園の取り組みの基盤となる全体的な計画の策定と、計画にもとづく子どもが主体的に過ごすことのできる環境の整備に取り組んでいることは、評価できる。

令和4年10月13日

<評価機関>

認証番号 第1号

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
会長 漆原 完次

